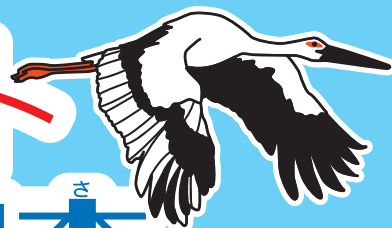


いこな生きもののが...
たのむたあ...



エコネット



生きもの調査



in このす 体験会



さんかしゃほしゅう!
参加者募集!

みなさんの身近にみられる川や田んぼなどの水辺の環境は、
魚やカエルや虫など多くの生きものすみかになっています。
生きもの観察で、地域の自然の豊かさやつながりについて、楽しく学びましょう!

※活動写真は、当協議会が別地区で実施した体験会のようすです

R8 **6月20日(土)**

午前 **9:30~12:00**
集合場所: **川里中央公園駐車場**

内容は
小学生高学年
以上向けです
(おとなもOK!)

【集合場所】埼玉県鴻巣市関新田1780-1 (当日はのぼり旗あり)



プログラム (予定)

- ◎水辺の生きもの調査体験
- ◎荒川の生きもの観察 (魚類等)
- ◎エコネット環境学習 (室内)
- ◎思い出づくり (工作)

調査体験では
川里地域のピオープで
生きものをとって
名前をしらべます
(野外活動です)

●申し込み前にご確認ください●

- ◎どなたでも参加可能(定員25名/先着順/無料)ですが、小学生以下は必ず保護者の方とお越してください。
- ◎小雨の場合は内容を縮小して実施します(かんたん生きもの観察など)。荒天(大雨や暴風等)の場合は中止です。
- ◎生きものをとる道具はお貸しします。当日の持ち物などの詳細は、申し込み代表者の方へ、後日、お知らせします。

申し込み方法

要申し込み/無料/先着順 (定員25名)

QRコードまたはURLよりお申し込みください ⇒ <https://forms.gle/LRYgoeG6j3HNVieq8>



※アクセスできない場合、問合先まで電子メール (または電話) で、以下の必要事項をご連絡ください。

【必要事項】人数 (大人・子ども)、代表者名、代表者連絡先 (電話番号+あればメールアドレス)

※申し込み後、事務局から折り返し連絡をもって受付完了となります(定員に達した場合にはキャンセル連絡をします)。申し込みから3日以上連絡がない場合、送信エラーの可能性があるので、電話でお問い合わせください。

問合先(事務局補助係): 株式会社建設環境研究所 (担当: 佐野 090-5500-3387)
電子メール: 25A0290@kensetsukankyo.co.jp/ TEL: 03-3988-2632

主催: 鴻巣市・荒川流域エコネット地域づくり推進協議会



「荒川流域エコネット地域づくり推進協議会」では



人と自然が安心して暮らしていける地域づくりに向けて、
(例えば、生きもの調査や環境学習の促進など、)

地域関係者が連携して、
エコロジカル・ネットワーク形成の取り組みを進めています



荒川流域エコネット形成による

荒川やその周辺地域において
さまざまな生きものの生息環境を
守り・育み・つなげます

豊かな地域づくりを目指して

コウノトリなど多様な生物のすむ
自然豊かな環境づくりは
安心して暮らせる未来につながります

地域が連携・協力しています

荒川流域の地域関係者が
協議会において連携を図りながら
取り組みを進めています

(研究者、市民団体、県市町、国)

取り組みの実現には、「この空にコウノトリを羽ばたかせよう」と考え・行動する、多くの人の参加・協力が必要です。そこで、地域関係者が主体的に実施できること、また連携・協力することでさらなる効果が期待できることを、「荒川流域エコネット地域づくりアクションプラン(令和3年3月)」にとりまとめました。現在、このプランに関連する各種の対策・検討を、地域関係者が連携・協力しながら進めています。

荒川流域エコネット地域づくりアクションプラン

**生物の
生息環境保全
に関するプラン**

① 合同生きもの調査の実施

② ゴミ・外来種等の環境問題への対応

③ 環境学習・観察会の推進支援

**地域振興
経済活性化
に関するプラン**

④ 各種広報の展開

⑤ 地域振興の推進支援

⑥ 関係者間のネットワーク支援

Q 荒川流域エリアにおける「エコロジカル・ネットワーク形成」とは…?

- 私たち人間は、河川から食料や水の供給を受けたり、森林による気候調節によって守られたりと、自然からさまざまな恵み(生態系サービス)を受けて生活しています。この日々の豊かさや安全な暮らしに欠かせない生態系サービスを支えているのが「生物多様性」です。
- 生物多様性を守るには、広く、さまざまな場所で、自然環境を保全・再生していく必要があります。これを効果的に進めていくために、いまある自然拠点をつなげる「エコロジカル・ネットワーク」の考え方が重要です。自然拠点のつながりを強くするには、拠点をむすぶだけでなく、拠点を大きくしたり、たくさんつくるのが有効で、そのためには多くの人の力が必要です。
- 荒川流域エリアの自然拠点は、河川・水路・水田・森林・公園など多種多様で、関わる人もさまざまです。そこで、自然のつながりを強くする「エコロジカル・ネットワーク形成」に向けて、エリア内の多様な地域関係者が連携・協力して取り組んでいるのです。

